

令和7年度 野百合園・野百合ホーム地域連携推進会議議事録

1 開催日時 令和7年11月16日（日） 午後3時30分から5時まで

2 開催場所 野百合園 会議室

3 出席者

野百合園会議構成員

- ① 利用者（代理：利用者家族）
- ② 利用者家族
- ③ 荻野地区真弓自治会元会長
- ④ 荻野地区宮郷自治会元会長
- ⑤ 荻野地区真弓自治会会长

野百合ホーム会議構成員

- ① 利用者（※後見人同席）
- ② 元利用者家族
- ③ 荻野地区鳶尾4丁目自治会会长
- ④ 厚木精華園地域支援部長
- ⑤ 厚木市社会福祉協議会地域福祉係長

施設

野百合会 北條理事長

野百合園 本杉園長

小島総務課長

杉田支援課長

4 議題

(1) 施設・サービス等について

- ① 野百合園・野百合ホームの概要
- ② 利用者の日常生活

(2) 施設と地域との連携について

- ① 野百合園・野百合ホームの行事等
- ② 地域の行事等

(3) 利用者の権利擁護について

- ① 虐待、事故、ヒヤリハットの状況報告と対応

5 会議の概要

- 理事長あいさつ
- 会議構成員の紹介
- 地域連携推進会議の趣旨説明（目的・内容・効果）
- 議題

(1) 施設・サービス等について

○資料及び野百合園パンフレットにより、野百合園・野百合ホームの概要について説明。

- ・事業開始年度、事業の種類
- ・提供するサービス
- ・利用者の状況
- ・利用者の一日の生活

(2) 施設と地域との連携について

○資料により、野百合園・野百合ホームの行事等について説明。

- ・野百合園・野百合ホームの年間行事

<情報共有・意見交換>

- ・(園：利用者（代理）) 行事等は計画通りに行われている。資料に書いていない部分で、利用者家族との個別懇談会等で生活や行事のあり方・希望を伝えることで、変わってきているものもある。家族の意見は聞いていただいている。
- ・(ホーム：元利用者家族) グループホームにいたころは洗濯を自分でしていたが、園に移行してからは自分ですることがなくなり、残念な面もある。一方、園では個別支援で電車や車での外出などがあり、楽しみにしている。

⇒日曜日の時間を有効に使い、個別支援には積極的に取り組んでいきたい。家族からの意見や希望もお伝えいただきたい。

個別支援は、一覧表で実施状況を記録・確認し、利用者さんが公平に行けるよう、担当だけでなく支援員全員で対応している。

⇒意思決定支援において、利用者さんも交えてモニタリングを行っており、如何に利用者さんの意思をくみ取れるかが今後のテーマである。また、アセスメントシートの作成には、こうした利用者さんの希望を反映するよう努めている。

- ・(ホーム：利用者（※後見人）) 行事において、日帰り旅行やドライブは、どのようなことを支援の目標としているのか、また利用者のグループ分けもあると思うが、グループごとの目標などがあるのか。

⇒ドライブは、利用者さんはほとんどが好きなので、目的地を決め、利用者さんみんなで楽しんでいただくことを目的としている。日帰り旅行は、行程が歩く場面が多い、あるいは、ほとんどがバスでの移動など、利用者さんの運動機能などの特性に応じて行って

いる。なお、規律を守る、今後の生活に役立つなどを目的とした支援は、日々の日中活動の中で行っている。

- ・(園：利用者（代理）) 何かを行う場合、漫然と行うのではなく、目的を持つことが大切だと思う。運動の日があるが、高齢化すると運動機能が落ちるのでフレイル対策として設けたと思う。例えば、日帰り旅行などは、社会におけるコミュニケーション能力をつけることを目標にするなど、職員や家族は理解した上で行なうことが、より効果的であると感じた。コンビニ訪問販売は、利用者自身が商品を選ぶが、意思決定支援につながると思うので、そのことを認識して行っていただきたい。
- ・(園：利用者家族) 外出することで、気分転換になり、外で食事などをするとき、騒いではいけないというマナーを身につける機会になる。
- ・(ホーム：利用者) 普段いけない日帰り旅行は、楽しかった。
- ・(ホーム：利用者（※後見人）) 利用者との面談の中で楽しかったことについて話をしてくれる。本人は猫が好きで、動物と触れ合える店に移動支援を利用して行くのを楽しみにしている。
- ・(ホーム：自治会長) 自治会内には野百合ホームの他、他施設のグループホームもあるが、自治会の方が世話人さんの顔を知らない。世話人と自治会の役員だけでもお互いにコミュニケーションをとることが大事だと感じている。ぜひ機会を捉えて、そのような場を設けてほしい。また、自治会の行事として、美化清掃や防災訓練のほか、フェスティバルやもちつきなど各行事を行っているので、利用者さん職員にも参加をいただきたい。
⇒コミュニケーションが取れていないと、お互いに誤解が生じることもあるので、そのような機会を検討させていただきたい。
- ・(園：自治会長) 私どもの自治会は住民が少なくなってきており、自治会独自の行事を行うことが難しい。協力いただいている部分もあるので、その時はお声がけする。
⇒昨年から国民の祝日を利用し、餅つきやバーベキューなど各種行事を行っている。園の行事に地域の方が参加いただくことで、地域連携が図られると思うので、お声かけさせていただきたい。
- ・(ホーム：精華園部長) 個別支援や意思決定支援など神奈川県ではやることが多くなってきている。職員側から見ると、楽しく何かを行う機会が少なくなってきたように感じる。先日、精華園、紅梅学園、野百合園3施設合同のイベントを行ったが、利用者さんともに職員も楽しめるような行事や個別支援を考えていきたい。また、当施設のグループホームも同じ自治会内にあるので、今後とも協力していきたい。
- ・(ホーム：社協係長) 国の考えもそうであるが、社会福祉協議会は、高齢者、障害者、児童、生活困窮などの分野を縦割りではなく、横串をさして地域づくりとして事業を進めている。野百合園として要望があれば社協に相談いただき、社協からも野百合園に合わせられる事項があれば相談したい。

(3) 利用者の権利擁護について

○資料により、虐待に係る改善計画、事故、ヒヤリハットの状況について説明

- ・虐待事案に係る県行政処分に対する改善計画
- ・ヒヤリハット・事故報告集計

○閉会 園長